通分のしかた まとめ

分母をそろえる方法と、使いみち。

通分とは

分母のちがう分数を、大きさを変えずに共通な分母の分数になおすことを通分といいます。

$\frac{2}{3}$、$\frac{3}{4}$ → $\frac{8}{12}$、$\frac{9}{12}$

分母は最小公倍数に

3と4の最小公倍数は12。大きいほうの分母4の倍数（4、8、12…）を順に調べ、3でわれる数を見つけます。

分子もかける

分母に4をかけたら、分子にも4をかけます：2 × 4 ＝ 8。分母と分子に同じ数をかけても、分数の大きさは変わりません。

使いみち

大きさくらべ：通分すると分子だけでくらべられます（8/12 ＜ 9/12）。

分母のちがう分数のたし算・ひき算は、通分してから計算します。